

正解手II ▲1六角 (正解図)

勝てばタイトル初挑戦が決まる羽生五段。この重要な一戦で、▲1六角の鬼手を放つ。

これは▲2四歩△同歩▲3四角として、次に▲3五銀と、棒銀を引くことなく前進させようとの意図である。しかし、その打った角がうま



しな 駒 持 下 森

トル 【正解2図は▲5六角まで】



三 歩 駒 持 下 森

飛

く働くかが不透明で、かなりしつかりとした読みがはいっていないと、打てない角だ。

正解図以下、△7四歩▲2四歩△同歩▲3四角△7五歩▲3五銀△3三銀▲4五角△7六歩▲6六銀△8六歩▲同歩△7五銀▲6五銀△8六銀▲7四銀△8四歩▲5六角 (正解2図) と進んだ。

通常は使いかたがむずかしいとされる筋違い角を巧みに操り、局面のバランスを保つ。

以下難解な戦いが続くも、勝負は先手勝ち。この勝利がタイトル初挑戦および初奪取へとつながっていく。